

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス石巻教室		
○保護者評価実施期間	令和6年11月28日		～ 令和6年12月12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	令和7年2月13日		～ 令和7年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「4つの基本活動」を組み合わせた集団トレーニングを週間テーマやプログラムに沿って行っている。	ハッピーテラス本部による週間テーマに沿った集団トレーニング(30分1コマ)を行う上で、その日のご利用者様の発達段階に合わせた内容を職員全員で検討・企画・実践しております。また、4つの基本活動(1. 自立支援と日常生活の充実のための活動 2. 創作活動 3. 地域交流の機会の提供 4. 余暇の提供)を組み合わせ、さまざまな年齢の人や地域と関わり合いながら自立スキルを養えるようサポートしております。	平日・休日における利用時間に応じた時間割に沿って集団・個別トレーニングを継続してまいります。休日(土祝日・長期休暇)は「自立支援と日常生活充実のための活動」および「地域交流の機会の提供」として外出やお買い物・調理イベント等を積極的に行っておりますが、今後も移動範囲や取り組み内容について吟味しながら地域との連携を図ってまいります。
2	小学生から高校生までが同じテーマの集団トレーニングで関わり合い、活動しながらコミュニケーション力や自己選択・自己決定の力を養っている。	全年齢のご利用者様が同じテーマの集団トレーニングに取り組み、レクリエーション・ロールプレイ・小集団でのグループワーク・全体での発表などさまざまな場面を設定しながら活動を行っております。その中で、自分はどうしたいか・誰にどう伝えるか等を職員が仲介しながらサポートし、コミュニケーション力を養っています。	全年齢のご利用者様がいっしょに活動するメリット(自分がどう風になくなっていくか・年齢が上がっていく上で求められる役割をイメージしやすい)を活かしつつ、円滑なコミュニケーションが取れるよう引き続きさまざまな機会を提供します。また、月2回程度企画している「高校生講座」においても、卒業後の進路に役立つ新たな取り組みを企画・実践してまいります。
3	「個別支援計画」に基づき、日々の支援内容や課題・目標の達成状況を職員全員で共有しながら支援にあたっている。	ご利用者様の「個別支援計画」についてご本人様・保護者様から同意を得た後はその計画に基づいて支援を行っております。日々の支援内容や課題・目標の達成状況を毎日記録に残し、朝礼・終礼においても情報を共有しながら「職員全員が同じ目的意識を持って、全員で支援にあたる」ことにしています。	3か月に1回程度発行している「振り返り」を全員で読み合わせ、ご利用者様の現状を細かく分析・共有しながら引き続きよりよい支援に努めます。また、ハッピーテラス本部主催・自立支援協議会主催の研修会等に職員が積極的に参加し、療育やサービスの質の向上を図ってまいります。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	教室内・外の活動スペースに限りがある。	教室内は通常時、トレーニング室に机・イスが並んでいる状態で活動しております。また、外は車通りの激しい道路に面しているため、移動等安全に気をつける必要があります。	ケガや事故の危険がないよう、利用時間前にトレーニング室の整理整頓・職員間での話し合いやロールプレイを行った上でトレーニングを行っております。また、来所・降所時(送迎時)は職員が先頭になって移動し、駐車場に車の往来がない時間帯にできる範囲で運動系トレーニングを行ってまいります。
2	事業所の設備等について、完全なバリアフリーとは言えない箇所がある。	入口に2段の段差、また、トレーニング室と洗面所に約3.5cmほどの段差があるのが現状です。今現在車椅子等を使用されているご利用者様はいらっしゃいませんが、場合によっては足のもつれ・踏み外しから転倒やケガのおそれがあります。	来所・降所時(送迎時)は職員が付き添いながら入口の段差に気をつける・将棋倒しにならないよう間隔をあけて移動することについて、引き続き声掛け・いっしょに上り下りを行ってまいります。今後、スロープ等が必要な場合は改善に努めます。
3			